

そこが知りたい 塩田義塾 義歯製作のコツ

咬合

Q 1	下顎位の判断は？	10
Q 2	水平的顎位を求めるときの患者の姿勢	10
Q 3	咬合採得時、ロックピンで固定されたが……	10
Q 4	顎堤高度吸収の場合の咬合採得	11
Q 5	遊離端義歯の上手な作り方	11
Q 6	咬合採得のポイント	12
Q 7	左右に動く下顎義歯の咬合採得	13
Q 8	下顎を前に出して噛むときの咬合採得	13
Q 9	咬合採得時の正中の不一致	14
Q10	すれ違い咬合の咬合採得	14
Q11	バイトは低く採る	14
Q12	オトガイ部が突出しているときの咬合採得	15
Q13	咬合堤のロック法は？	16
Q14	上下の顎関係が正常でないときの咬合採得	16
Q15	3のみの残存、BTの採得と排列	17
Q16	下顎が前方位にあるときの咬合採得	17
Q17	水平的顎位のズレと咬合採得	18
Q18	臼歯部が船底型陥没顎堤の咬合採得	18
Q19	咬合採得する際の患者への助言	19
Q20	義歯セット後の左右の振れ	19
Q21	レジンを盛るか、削合するか	20
Q22	「軟パラ法」とは	20
Q23	下顎の人工歯へのレジン添加	21
Q24	軟パラ法によるリマウント調整	21
Q25	軟パラ法で付与する臼歯部の咬合面形態	21
Q26	咬合器上における咬合調整	22
Q27	軟パラ法の枚数	22
Q28	咬耗している義歯の咬合採得	22
Q29	軟パラ法で咬合が一致しないとき	23
Q30	軟パラ法で咬合高径を決める？	23
Q31	軟パラ法で咬合関係を修正するとき	23
Q32	試適の段階での軟パラ法	24
Q33	軟パラ法で咬合採得したとき	24
Q34	咬合のズレ	24
Q35	軟パラ法の応用	25
Q36	早期接触部削合後の側方運動	25
Q37	軟パラ法による咬合採得後のピックアップ印象	25
Q38	咬合器で調整する目安	25
Q39	軟パラ法による新義歯の咬合採得	26
Q40	軟パラ2枚を重ねて咬合させるとき	26
Q41	軟パラ法による臼歯の咬合挙上	26
Q42	軟パラの使い分け	27
Q43	軟パラ法による咬合面の形態、調整方法	28
Q44	軟パラ法による義歯調整	28

Q45	軟パラ法は保険？	28
Q46	義歯そのものの安定が大前提	29
Q47	軟パラ法による咬合採得時の下顎義歯の前方滑走	29
Q48	臼歯部がすいているとき、削合 or 添加？	50
Q49	咬合補正時、削合またはレジンを盛り足す？	50
Q50	フルデンチャーの臼歯部のレジン添加	51
Q51	下顎義歯調整の注意点	51
Q52	咬合調整時、触るのは上顎？下顎？	52
Q53	セット後の義歯調整	52
Q54	軟パラリマウント後の咬合調整	52
Q55	上顎の口ウ堤の咬合平面	53
Q56	上顎咬合平面の決め方	53
Q57	咬合高径の補正	54
Q58	下顎の臼後結節	54
Q59	人工歯の咬合面に添加するレジンは？	54
Q60	安定した所で咬合させる	55
Q61	高径をディバイダーで決定するとき	55
Q62	すれ違い咬合の咬合支持	55
Q63	正中が一致しない	56
Q64	顎骨と顔の正中が一致しないとき	56
Q65	咬合紙による咬合のチェック	56
Q66	義歯を入れていると痛いところがある	57
Q67	grinding タイプの患者の咬合面形態	57
Q68	前歯部の中心咬合位での咬合	58
Q69	開口スケルタルⅡ級の人工歯排列	58
Q70	上下顎堤が2、3級のときの排列	59
Q71	人工歯排列はどこにする	59
Q72	歯槽頂間線の法則	60
Q73	下顎のほう顎堤が大きく、前突のときの排列	60
Q74	顎位の誘導はしない	61
Q75	前後的顎位の採得ミスを防ぐには	61
Q76	リマウントのコツ	61
Q77	フェイスボウは？	62
Q78	総義歯における片側での咬合	62
Q79	下顎総義歯が動く	62
Q80	下顎の突き上げによる総義歯の脱落	63
Q81	プロビジョナルデンチャーの使用期間	64
Q82	上下顎関係のバランスが非対称	64

■ 症例

症例 1	下顎義歯がフィットしない	30	症例 2	義歯の当たりの削除	33
症例 3	義歯装着1ヵ月。修理か新製か	34	症例 4	上顎義歯の脱落、下顎義歯の浮き上がり	40
症例 5	ポストダムの形成法と咬合採得	46	症例 6	上下の正中	49
症例 7	咬合紙による咬合チェック①	66	症例 8	咬合紙による咬合チェック②	67
症例 9	早期接触	68	症例 10	不安定な下顎義歯	70
症例 11	下顎義歯の排列位置	72	症例 12	増歯時のリマウント	73
症例 13	下顎舌小帯を読む	74	症例 14	上顎のリライニング	76

臨床福袋	あえて下顎位と言わず、上下の顎関係と言いたい	15
	荘子の「無用の用」	19 難易度と満足度は反比例する 27
	当たり前だ！	45 術者側からするといやらしく偏く、動く…… 45
	そんなに大きくしてどうするんだ	48 義歯の知恵袋がほしい 57
	よい歯科医師になるには	65 一番の専門家は患者さん 69
	30分の法則	75 作家の井上ひさしさんは…… 78 評価 78

印象

Q 1	顎堤状態が悪いときの印象採得	80
Q 2	硬練りのアルジネートでの印象	80
Q 3	硬練りのアルジネート印象が最終か	80
Q 4	印象採得後の石膏との分離剤	81
Q 5	印象時のプレッシャーコントロール	81
Q 6	嚥下障害の人の印象採得	81
Q 7	アルジネート2回法におけるテクニコールボンド	82
Q 8	弾性用床用材料に対する評価	82
Q 9	印象後の模型修正	83
Q10	旧義歯を使った新義歯製作法	83
Q11	機能印象時の注意点	83
Q12	機能印象材	84
Q13	ハードボディータイプの印象材	84
Q14	アルジネート練和の際の水分量	84
Q15	印象材の表面を滑らかにする	85
Q16	ウォッシュ印象の際の混液比	85
Q17	シリコーン印象の接着剤をはがす溶剤	85
Q18	軟性の裏装材の使用	86
Q19	間接法によるリライニング	86
Q20	リライニング材の選択	87
Q21	下顎骨隆起を避けたPD。新義歯の設計は	87
Q22	下顎骨隆起への対処	87
Q23	T-condによる治療	88
Q24	義歯の浮き上がりの改善	88
Q25	下顎義歯を口腔内に入れたとき吸着を得たい	89
Q26	下顎総義歯が浮き上がる原因	90
Q27	ウォッシュテクニックの方法	90
Q28	ウォッシュテクニックと変形	91
Q29	フィットチェッカー等による粘膜の適合性	91
Q30	義歯床の設計	92
Q31	床外形をどこまで小さくできるか	92
Q32	嘔吐反射の激しい患者	92

症例

症例 1	再印象の判断	93	症例 2	抜歯後の増歯	94
症例 3	下顎総義歯の印象	97	症例 4	簡単な義歯製作法	98
症例 5	全部抜歯をすれば……	102	症例 6	即日増歯	104
症例 7	増歯	106	症例 8	即時義歯の印象	107
症例 9	鉤歯の脱落	108	症例 10	旧義歯は最高の各個トレー	110

臨床福袋 金属床になったからといって機能が向上するわけではない 82

リマウントは患者と術者を救う 85 患者さんの言葉 91 好きになること 96

押してみる 101 必要以上に理解しようとしないう 頭のよい人はそうである 103

採れるか採れないかというより 107 BTは正しく採れないものだ 109

その他

Q 1	顎堤がフラビーのとき、軟パラ法はどうする	114
Q 2	上顎 CD が咬合時に前方移動	114
Q 3	旧義歯を軟パラ法で改善	114
Q 4	パラフィンワックスの軟化	115
Q 5	軟パラ法の適応症	115
Q 6	下顎有歯列。上顎義歯が破折を繰り返すとき	116
Q 7	上顎義歯の正中から破折	116
Q 8	義歯を入れたくない患者	117
Q 9	1～2本の残存歯のある義歯	117
Q10	義歯内面をチェックするときのコツ	118
Q11	3のみ残存、咬合採得の注意点	118
Q12	新しく上下顎義歯を作る手順	119
Q13	少ない通院回数で総義歯を完成させる方法	119
Q14	義歯製作法の評価	119
Q15	義歯製作を上達させる勉強法	120
Q16	旧義歯を超えられるかの読みが大切	120
Q17	人工歯をはずして修理するとき	121
Q18	吸着と軟パラ法	121
Q19	噛める義歯作りに必要なもの	122
Q20	吸着が悪いとき、安定を求めるには	122
Q21	義歯セット数日後の当たり	123
Q22	口腔乾燥症患者の義歯の吸着	123
Q23	人工歯のシェード・形態の選択	138
Q24	人工歯の材質の選択	138
Q25	人工歯は硬質レジンが多い	138
Q26	下顎前突（クラスⅢ）の排列	139
Q27	誤りに気づき、修正する	139
Q28	歯冠・義歯補綴をあわせて行うとき	139
Q29	金属床の利点	140
Q30	上顎口蓋部金属床メタルの範囲	140
Q31	床後縁の延長はレーザー溶接か新製か	140
Q32	下顎総義歯を金属床にする是非	141
Q33	軟パラ後の咬合調整	141
Q34	咬合床の安定が咬合採得を左右する	142
Q35	顎関節症と軟パラ法	142
Q36	薄い粘膜の顎堤に対して	142
Q37	顎舌骨筋線稜が鋭利なときの義歯作製	143
Q38	リライニングに使用する材料	144
Q39	保険における効率的な総義歯作り	144
Q40	即時重合レジンのリライニング	145
Q41	義歯の咬合状態や適合は問題ないが……	145
Q42	練和器の選択	146

Q43	補強線的设计	146
Q44	即重レジンの加圧重合	146
Q45	オトガイ神経の圧迫	146
Q46	仮のデンチャーがないとき、コピーデンチャーは？	147
Q47	院内にラボをもつ	147
Q48	そば棚の付与	147
Q49	よい歯医者はいつも混んでいる	148
Q50	患者が義歯について無反応	148
Q51	歯科医と患者との間にギャップがあるとき	148

■ 症例

症例 1	転院ごとに下顎総義歯を作製	124	症例 2	金属床のリフォーム	126
症例 3	下顎義歯の破折	128	症例 4	義歯の破折・変形修理	130
症例 5	スキーズーンの排列	132	症例 6	義歯の亀裂	133
症例 7	金属床の新製	134	症例 8	上手なクラスピングをするには	136
症例 9	リライニング	137	症例 10	クラウン等の脱落	150
症例 11	床の外形、長さ	151	症例 12	下顎フルデンチャーの理想的外形	152
症例 13	旧義歯より大きな新義歯の装着	153	症例 14	義歯の重量	154
症例 15	アーラインの床の延長	156	症例 16	床外形の設定	157
症例 17	臼歯排列	158	義歯づくりのヒント&ガイド	162	

野口英世博士は福島県が生んだ世界の偉人です。 170

臨床福袋	簡単だから上手くなります	115	家内が母の介護を始めて私は自立した	118
	NAVI	132	君、どない思うんや？	135
	好きこそ物の上手なれ	143		
	上手くなるコツは？	149	手で分量を	150
	手を動かしていれば	155		
	どこか高く咬合が合っていない場合、咬合紙ではチェックできない	161		
	歯科医師国家試験	169	だんどり	172
	義歯の再製が少ないのは、はたしてよいのだろうか時々思う	175		
	総義歯の咬合は特殊である(義歯が動くため) — 1988年に行った講演要旨 —	180		
	やっぱりエジソンはスゴイ	187		

塩田&塾生 臨床トークあれこれ

■リマウントは患者と術者を救う	172	■医院を渡り歩く患者の対応は難しい	173
■勉強する意欲がないとうまくならない	173	■“仕方がない”を選択してはいけない	174
■上下の正中一致率は90%以上	174	■最初から、“うまい”“早い”人はいない	175
■先生にろくなものはいない……	176	■軟バラで楽しく臨床ができる	177
■触らぬ顎に祟りなし	178	■診断・治療への悩みを文字にしてみる	178
■できる限りのことを行う	179	■勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし	180
■自分でマイナスの体験をしないと気づかない	181	■義歯を入れるのも、長生きできた証	182
■下顎義歯の浮き上がりは過長をチェック	183	■義歯作りのポイントは咬合	184
■印象は精度より形	184	■軟バラ法の成功は義歯が安定しているかが鍵	185
■レプリカ法——ピックアップ法を勧める	186	■歯槽頂間線法則は過去の理論ではない	187
■セントリックとは、ベストヒンジポジション	188	■デンタルホビー・プラスはどうして生まれた？	188
■我慢できない患者の手助けをする	190	■上顎義歯の吸着はポストダムが有効	191
■同じ印象は二度と採れない	192	■努力は続けなければ報われない	192
■患者の言うことを聞けば、ときには名医になれる	193		

あとがき 194

参考文献 196